

## ●自由が丘が都市景観大賞受賞！

先日、平成24年度都市景観大賞が発表され、自由が丘地区が都市空間部門で大賞を受賞しました。(株)ジェイ・スピリット、自由が丘商店街振興組合の皆様、誠におめでとうございます。

自由が丘地区は弊社のある中目黒からも近く、交通社会実験やバリアフリー構想などの業務などで関わりの深い地区です。また、私自身も平成19～20年度に駅前広場整備計画の業務に携わり、その当時、今回受賞された団体の皆さんからたくさんの厳しい意見を頂き、苦労！？したことを思い出し、自分の事のように嬉しく思いました。

『大改造の手段は一切なく、様々な表情を持つ既存の狭い街路、路地など、その小さな空間の特徴を活かしながら丁寧に誘導、整備し、デザインし直すことで、歩いて楽しい回遊性のある都市空間と、変化に富んだ魅力的景観をつくり上げている。』とは、審査講評です。

まさにそのとおりだと思います。しかも、優れた自然環境や歴史的な建造物がある訳ではなく、また、高質な舗装材やファニチャーを使い、街路樹や建物のデザインが特別優れているからだけでもないと思うのです。むしろ標準的な既製品であったり、目障りな看板類もまだまだあります。それでも、パブリックスペースが小奇麗に管理されており、人通りが多く賑わいのあるところが、この街の魅力的な景観をつくっているのではないのでしょうか。

今回大賞を受賞しましたが、まだまだ今後も成長し続ける進化型都市景観？いつまでも大切に残したい景観ではなく、いつまでも進化し続ける景観の街なのだと思います。

五十嵐 淳 (第一計画部)

## ●ミャンマー雑感

三月下旬にミャンマーの旧首都ヤンゴンへ出張してきた。ミャンマー詣でが社会現象になっているらしく、回りから「早く予約しないとヤンゴン便の座席はないぞ、ホテルの部屋はないぞ」と親切な忠告を受けながらやっと出張を片付けることができた。

出張してわかったのだが、ミャンマー詣では日本人ビジネスマンによるブームである。バンコクからヤンゴンへの飛行機の過半は日本人ビジネスマン。レストランのテーブルや、ホテルロビーのソファで打合せしているのも日本人ビジネスマン。中国や韓国勢はすでにミャンマーにビジネスの基盤を築いているのか、慌てていない。まだ事務所も設立していない日本人ビジネスマンが、公共の空間で打ち合わせしながら大騒ぎしていた。

どこまで先行勢力を巻き返せるのか。最近の東南アジアのビジネスでは、中韓勢に攻勢をかけられシェアを奪われる日本勢ばかり見てきたので、たまには逆のパターンも見たいものである。

熊澤 憲 (取締役・海外室)

## ●番外編～共感するまちかど～

## マニラでフグ発見

マニラの中心業務地域マカティの繁華街に、私が20年来最良にしている韓国・日本料理屋がある。近辺は韓国人の進出が著しく、日本料理屋が消えていく一方で、韓国飯屋が急増している地域である。

今年初め、数年ぶりで訪ねてみると、水槽にフグが泳いでいる。30センチ内外の食べ頃サイズである。外国で初めて見た食用フグなので、早速注文してみると、ふぐさしが日本のものよりやや厚めながら、きれいに並べられて出てきた。わさび醤油かコチジャンで、芹の茎を添えて食べる。味は日本のトラフグには及ばないが、まあ上等の白身である。

匹単位で頼むので、そのあとはふぐちりとなるが、この量が少ない。4人で2キロ程度頼んだのに、一人当たり小さなお椀1杯しかない。おかしいじゃないかと聞いてみると、卵巣・精巣はもとより、皮にまで毒があって、歩留まりが悪いのだと言う。2キロ頼んでも、500グラム程度が出てくるだけである。

あとで調べたところ、同じものは図鑑に見あたらなかったが、どうも日本のサ

ザナミフグに近い種類らしい。値段はキロ2千円程度だから、味と珍しさを考えれば、試してみる価値はあったところだろうか。なお、フグを捌くのは実習を積んだ料理人だそうである。

庄山 高司（代表取締役）

---

Copyright 2012 ALMEC Corporation. All rights reserved.